

中心児報

発行日：2021（令和3）年9月1日

発行：社会福祉法人 中心会
児童養護施設 中心子どもの家
相模原市中央区田名10125
TEL：042-764-7046

URL <http://kodomo.chusinkai.net/>

E-mail [kodomonioie@chusinkai.jp](mailto:kodomonoie@chusinkai.jp)

発行責任：所長 丹 清



「真心に育つ」創設者 常岡一郎 揮毫



「すごいな」と胸を打たれたこと

所長 丹 清

施設で生活していると、「自分が子どもの頃は、こんなことできなかった（しなかったな）」と思うことがたくさんあります。この夏休みもたくさんありましたが、代表例を1つ。

ある特別養護老人ホームから「防災備蓄庫にある大量の水の入れ替えをする。中心子どもの家の子ども達に手伝ってもらえないか」との相談がありました。中高生に伝えたとこ、小学6年生1人、高校生4人が参加してくれました。（この人数が車に乗れる上限）



朝8時半に中心子どもの家を出発。9時にその特別養護老人ホームに着いて早速作業開始。飲料水500ml×24本入りを84箱運ぶ相当難儀な作業でした。風もなく、暑さも半端ではありませんでした。終盤は腕に力が入りにくくなり、「ラスト10箱っ!」「ラスト9箱っ!」などとカウントダウンしながらやり遂げました。翌日は皆が腕の筋肉痛、それだけハードな任務だったのです。この特別養護老人ホームで暮らす約100名の方々の安全を守る一端を担った子ども達に「すごいな」と胸を打たれました。

折しもその後、佐々淳行（さっさあつゆき）氏の「名もなき英雄たちの実話物語」を読みました。東日本大震災や地下鉄サリン事件などの現場で、人知れず任務を遂行した人々が紹介されています。氏は『「何になったか」ではなく「何を成したか」』が大切であることを訴えています。本当にそうだと思います。子ども達から大切なことを学ぶことができることに感謝し、これからも私達職員皆が「名もなき英雄」をめざしていきたいと思います。

HOMEの取り組み



HOMEとは、中心子どもの家の子どもと職員が一体となって取り組んでいる「安全・安心な暮らし」をめざす活動です。

子ども達は生活集団単位ではなく、幼児、小学生、中学生、高校生と学校ごとの集団になり、「安全・安心な暮らし」に向けて、できることを考え、年間通して取り組んでいきます。

ここでは今年度の活動について、ご紹介いたします。

HAPPY

幸せを感じられるように

ONE

全員がひとつになって

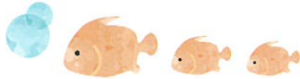
MORE

もっと上を目指して

ENJOY

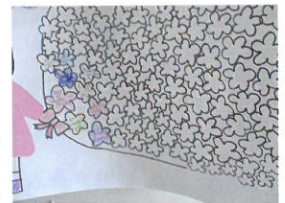
楽しく生活できるように

幼児部会



顔合わせをして、幼稚園バスの待ち方、にこにこ言葉、チクチク言葉について話しました。

自分も周りも、にこにこになる言葉や行動がたくさんできると気持ちがいいねという話から、そのような良い関わりに目を向けていく取り組みとして、たくさんのマスが書いてある「にこにこカード」を作り、子どもたちがにこにこ言葉、にこにこな行動をしたとき、それらの言動をカードに書き、書き込みのあるマスに色を塗っていくようにして、見て分かる形にしました。夏休み前に仕上がったにこにこカードは、この夏休みから開始したところ。3月を迎える頃には、どんなカラフルなカードになっているか、楽しみです。



小学生部会



- 女子：安全に登校ができることについて、6年生中心に登校班の並び順を考えています。夏休みに入っすぐ、6年生が司会をしながら集まって話し合い、目標『協力』～助け合えるチーム～を設定しました。一人ひとりの意見を大事にしながら話し合いが行っており、それぞれの成長を感じました。8月23日には、会議室にて6年生がかき氷とパンケーキを手作りし、2学期も目標を忘れずに登校出来ることを目指す楽しい会にしました。緊張しながらも一生懸命作ってくれた姿や、トラブルが起きても協力して楽しい時間を取り戻そうとしてくれた姿には、この目標通りだと感じるひと時でした。



- 男子：8月27日に、新学期に向けて集まりました。8月より新たに仲間が加わったため改めて自己紹介と男子の目標「助け合い」について確認をし、1学期の振り返りを各自考え、それを踏まえ登校班の並び順をみんなで考えました。特に班長、副班長が全体のことを考えて発言してくれており、頼もしい一面が見られました。その後、本来なら公園外出などを考えていましたが現状難しく、アイスやお菓子、ジュースを飲みながら2学期も頑張ろうとみんなで楽しく過ごしました。

中学生部会



新型コロナウイルス感染症の影響で今年度も外出自粛の夏休み。部会活動も例年通りにはいかない中、今後の活動について話し合いをした際、「夏休みにどこにも遊びに行けないけど、少しでもみんなに楽しい思い出を作ってほしい」という話が出ました。そこから話し合いを進め、中学生が主体となってカキ氷、花火を実施することになりました。各ユニットで、中学生が低年齢児に諸注意を行った上で花火をしたり、カキ氷を作って振舞ったりしました。ユニットの子どもたちの楽しそうな様子を見て、達成感を感じている様子の中学生でした。

高校生部会



新型コロナウイルス感染症をきっかけに、全体で集まるHOMEのスタート集会やフィードバック集会、施設行事等もユニットで行うようになりました。そのため、これまで施設の全体的なことについての安全・安心を考えることが多かった高校生部会でしたが、ユニット内に目を向けてみることにしました。進路に向けて動いていく高校生が多く、なかなか話し合いという形では時間を取ることが難しいですが、ユニットでの生活について、高校生の視点で気になることや課題等を抽出し、解決に向けて共に取り組む1年にしたいと思います。



生活の様子 ～工夫を凝らした夏休み～



昨年度に引き続き、今年度もステイホームな夏休みとなりました。

2度目にもなると、子ども・職員共に、外出自粛の夏休みもいかに楽しむか、様々な工夫が見られました。

映画鑑賞会

事務所職員の発案で、映画鑑賞会を実施しました。年齢等でグループ分けし、見たい映画を見ました。ポップコーンやジュースも用意して、気分は本当に映画館に来ているよう。最新作を見られないことは残念でしたが、子どもたちのリクエストを聞きながら選んだ映画に満足した様子でした。感想:子どもたちの興味のある映画だったこと、ポップコーンやジュースを準備してくださったことで子どもたちにとっても楽しい思い出になっていました。(職員・吉岡世理奈さん)

女子寮 夏祭り 光の家

中心子どもの家の普段の食事は調理員さんが作って下さいますが、月に一度、各ユニットで調理をする日「ファミリーデー」があります。

光の家は、8月のファミリーデーで夏祭り第1弾として、夜店の屋台をイメージした食事を作りました。盛り付けももちろん、屋台使用。焼きそばも唐揚げもポテトも、プラ容器や紙コップ等に入れて食べました。日を改めて夏祭り第2弾では、子どもたちが力を合わせてゲームのお店をやったり制作したものを飾ったりする夏祭りを実施しました。すべて子どもたちが考え、浴衣を着て楽しみました。夜には中学生部会提案の花火も行いました。

花の家

今年の花の家夏祭りは、部活動を引退した高校生も参加することができました。それぞれ、担当のお店の看板を作って飾りつけをしたり、引換券を作ってお買い物ができるようにしてみたり、みんなで協力してお祭り気分を味わいました。普段参加ができなかった高校生も、生クリームの泡立て等、積極的に手伝っている姿がありました。



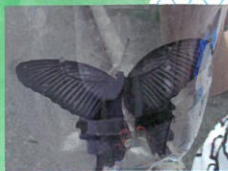
大地の家 流しそうめん

昼食がそうめんだったある日。早く食べ終えた高校生が、ペットボトルを使って黙々と作業を始めました。出来上がったのは流しそうめんのセット。低学年の子どもたちにと用意してくれました。幼児・小学生の子どもたちは、高校生に手伝ってもらいながら、手作り流しそうめんを楽しみました。



昆虫コーナー

ここ数年、虫捕りに夢中な子どもの姿が多い様子が続いていたため、今年は事務所前のスペースに展示コーナーを設置。捕まえたり見つけたりした虫は、壁面掲示の園マップに写真を貼っています。園庭で見つけた虫の抜け殻の展示や図鑑も置いています。「なんて虫か調べてみるね」「セミの抜け殻ってオスメス分かるの?」「これ、私が捕まえたんだよ」等、いろんなやりとりをしている姿が見られました。簡易的ではありますが、ペットボトルでも捕まえた虫がよく見えます!



ポニーのふれあい体験

麻溝公園内ふれあい動物広場の皆様が、ポニーを連れてやってきてくださいました。乗馬体験、えさやり体験など、子ども達は興味津々でポニーと触れ合っていました。ポニーの乗馬は、子どもたちだけでなく、職員まで体験させていただきました。子どもたち・職員みんなで楽しませていただきました。



生活の様子 ～工夫を凝らした夏休み～



外遊び

共用の玩具として、一輪車、三輪車、竹馬等をご寄付いただきました。中でも一番人気の一輪車は、この夏の間はずいぶん上達している姿がありました。



室内で作った変身セット。身に付けばウキウキ気分！そのまま外に遊びにきました。

園庭での水遊びでは、的あてゲームもやりました。



とにかく暑い夏。園庭にご寄付いただいたビニールプールを用意し、水遊びを楽しみました。

心の家 クワガタの飼育

昨年度末、地域の方からクワガタのご寄付のお申し出があり、今年度6月末、ついに中心子どもの家にやってきました。この日を待ちに待っていた子ども達。お持ちくださった当日は、クワガタの育て方を教えていただき、餌のゼリーを置いて飼育スタートとなりました。「夏が終わる頃、卵が産まれるといいね」等と話ながら日々、楽しく育てています。



感想

「エサを替えたりが大変だけど、お世話ができてよかった」(小1男児)

「お世話が難しかった」(小5男子)

「本物を初めて見れて嬉しかった」(小6男子)

「昆虫好きな子どもにとって、クワガタは楽しく育てられ、いただけてとてもよかったなと思います。みんなで可愛がっています。」

(職員・山岸悠起子さん)



様々なご寄付や体験の機会など、ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。

ご寄附お礼

【2021年4月～2021年6月】



米澤崇様様 ● 深津重光様 ● 鈴木豊様 ● 会田吉美様 ● 三ヶ木郁様 ● 富井明菜様 ● 渡辺信四郎様 ● N様
 有限会社第一タイヤセンター 代表取締役 熊谷 敏博様 ● 相模原中央地区更生保護女性会様 様
 株式会社地球ファミリー様 ● WFWPさがみはら 金澤 静子様 ● 株式会社ザ・シティ相模大野店 様
 神奈川福祉事業協会 会長 伊坂 重憲様 ● りつの本医院 院長 立之 英世様
 株式会社三光工芸社 代表取締役 貝塚 豊様 ● 株式会社ベルン 様
 絵本作家カピリナ 加藤 志異様 様 ● サンワールド神奈川支店 様
 関東アイスクリーム協会 理事長 小栗 英揮様
 NPO法人デジタルコンテンツ研究会 西村 紀子様
 株式会社チュチュアンナ 1%クラブ 様 ● 匿名2名様

